

祝 卒業

未来に羽ばたけ 277名

校友時報

平成19年3月2日
編集人兼発行人
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 南大書堂印刷

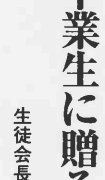
今年も卒業の季節がやってきました。三年生は、自分の夢を叶えるために、毎日休みなく勉強、頑張ってきたと思います。特に高校生活最後の一年は、卒業行事や部活動にも力が入り、とても思い出深いものになったと思います。卒業にあたって、改めてこれまでの高校生活を振り返ってほしいと思い、アンケートを実施しました。このアンケートがどう活用されたか、さまざまな意見があり、すべてを掲載できないのが残念ですが、代表的な意見や、特徴的な意見を紹介します。

青春でできましたか?という質問に対して、「7%の三年生が「YES」と答えました。これは、ほとんどの三年生が能代高校での三年間を楽しく送り、満足しているということだと思います。

次に、能代高校での三年間を色でたとえたと何色ですか?という質問をしました。票が分かれたが、ひしきわ多かったのが青色で、その次に黒色でした。この対照的な色を、どんな思いで三年生は選んだのでしょうか?

3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。将来の夢を持って、この能代高校に入学されてから、もう3年が経とうとしています。この3年間は、これまでで最も充実した期間だったのではないのでしょうか。とくに3年生として過ごされた今年度は、勉強だけでなく、部活動や学校行事にも力を注がれてきました。

部活動では、文武両道の校是の下で、一生懸命練習に励まれたたくさん



卒業生に贈る言葉

生徒会長 大山 周 悟

自分の体力や精神に戦いを挑み、先陣を走った先輩方、数々の行事を成功させてきた先輩方の姿は私たちにとても力になってくれる存在です。



全校がひとつになったフォークダンス

全校がひとつになったフォークダンス。全校がひとつになったフォークダンス。全校がひとつになったフォークダンス。

手ぎわよく進んでいる三年生を見て、とても頼もしく思いました。また、「部活動」を挙げているものも多くありました。辛いことや苦しいことをたくさん経験して、仲間と共に年間耐えぬいて、仲間として心に残っている、という質問に対して、ほとんどの三年生が「能高祭」「十里強歩」「球技大会」のどれかを挙げています。その中には「能高祭」が最も多く、10%でした。

これから先輩方は、進学される方々就職される方々、自分自身の道を歩んで行くことになると思いますが、そこにはいくつもの障害が待っていることでしょう。そんな時はこの学校で3年間培ってきた校訓「至誠力行」を胸に、文武両道の精神を胸に、乗り越えてもらいたいと思います。

先輩方の輝かしい未来と活躍をお祈りし、お祝いの言葉をさせていただきます。御卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さん、受験生としての一年間、本当にお疲れさまでした。テストや補習の連続で、気の休む暇がなく大変だったと思います。そんな皆さんを親のように身近で支えてくれた担任の先生に、クラス自慢をさせていただきます。

人気が集まったでしょう。また、オムライスや出欠など、目撃メニエーも人気の的でした。この結果について、いつも学食を作ってくれている所藤さんには話を聞いてみたいところ。学食の料理は、すべて手作り、添加物は一切入らず、しかも価格も学校の創立当初からほとんど変わっていません。これは、三年生にとって、後輩に尊敬されるようなプライズをしたいと思います。

クラス自慢といわれれば、クラス自慢の成績は常に文型最下位で提出物もままたらない集団ではあるが、何とも憎めないという人柄がよいというが、他のクラスにはない

3A 大倉先生
3Aの自慢は勉強も行事もできる生徒が多いことです。能高祭では総合1位、体育大会では女子バレー1位、十里強歩で優勝が1位など。大学受験においても今のところ出だしは好調です。

3B 赤塚先生
クラスの自慢といわれれば、クラス自慢の成績は常に文型最下位で提出物もままたらない集団ではあるが、何とも憎めないという人柄がよいというが、他のクラスにはない

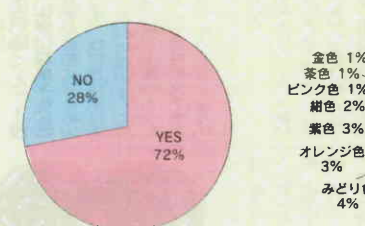
3C 石岡先生
部活と理数科関連の出張で不在ばかりの中、自分達で自覚した行動をしてくれた。校内対抗や学校祭では皆先で活躍した。また学校祭では担任のベタな歌を盛り上げる等思ひやりが見られてうれしかった。

3E 八柳先生
3Eの自慢は、賞状の枚数

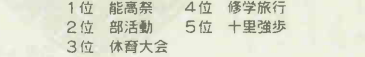
3G 紫田先生
3Gの自慢、教務の清潔感、生徒の一体感、担任の存在感、試験前の悲憤感、学校行事の連帯感、副担の責任感、一部の生徒の無常観、多数の生徒の生活習慣、担任半したら阿鼻叫喚、完。

3F 桜井先生
3年F組の自慢は担任を始め、美男美女が多いこと、うさぎ(冗談だよ)です。やばい何となくです。校内体育大会の優勝です。あの時のバレーは凄まじかった。終わってからの焼肉、おいしかったなあ。

問1 青春でできましたか?



問2 能代高校での3年間を色でたとえたと何色ですか?



問3 学校生活での思い出を教えてください

1位	能高祭	4位	修学旅行
2位	部活動	5位	十里強歩
3位	体育大会		

ある新聞に「死にたい」と言って過した今日は、昨日死んでしまった人たちが迎えたかった明日」という言葉が載っていました。最近いじめによる自殺が続いている。「死にたい」と思うのは、それなりの理由があるのでしょうか。死にたい理由で死んでしまう人や事故などで死んでしまう人もいます。「死にたい」と思う人がいなくなることは、いいことではないでしょうか。命の大切さについてもっと深く考えていきたいと思っています。先生方には、もし自分の子供がいじめを受ける側、自分の側になったらどうしますか?と聞いてみました。「親として反省し、家族の問題として徹底的に話し合う」「子供同士の話し合いで解決できる場を設けたい」などの意見がありました。家族にとってもいじめは深刻な問題です。最近では、多くの学校や地域でいじめ問題に對しての取り組みが実施されています。本校でも、いじめアンケートを実施し、集集を行なっています。アンケートの結果を教頭先生は「予想以上にいい結果を受けている生徒は多かった。自らの問題として、真剣に受け止めて欲しい」と話しています。生徒の声を聞くために、「さぼーとBOX」を設置したところ、さつそう投稿がありました。いじめをしていない人は自分がいじめられているという自覚がないことが多いそうです。自分の言動が誰かを傷つけていないかを、相手の立場になって考えてみてください。人は一人では絶対に生きられません。誰かに支えられていること、誰かを支えていることを忘れないでください。

